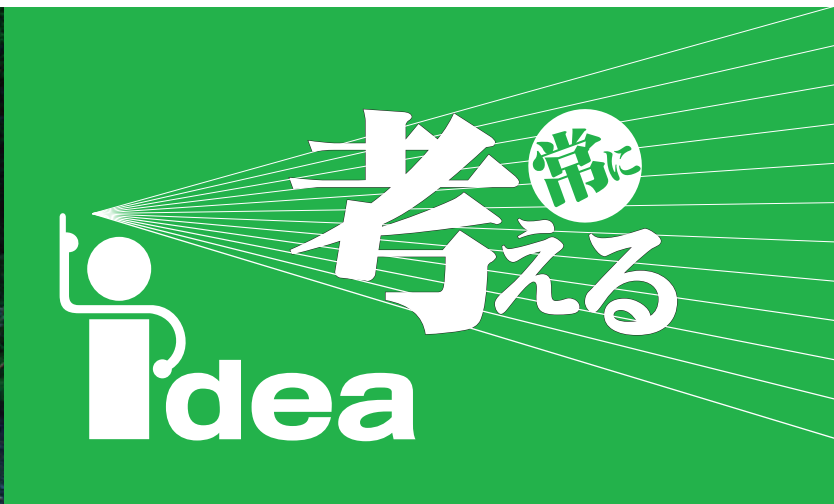


2019年3月21日～2020年3月20日



やまがたし  
「円原川の光芒：山県市」当社社員撮影



## 株主のみなさまへ

このたびの新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、被害にあわれたみなさまには心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめ、感染症拡大防止にご尽力されているみなさまには深く感謝申し上げます。

さて、当連結会計年度における我が国の経済は、雇用情勢の改善は続いているものの一部では企業収益に足踏み傾向が見られました。また、消費税増税以降は個人消費の足取りは重く力強さに欠けており、先行きについては不透明な状況で推移しております。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しており、持家や分譲一戸建住宅は底堅く推移しているものの、貸家の落ち込みにより住宅着工戸数は減少傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開した結果、売上高は過去最高の375億73百万円と前連結会計年度に比べ15億37百万円（4.3%）の増収となりました。利益につきましては、外注加工費の増加等があったものの増収効果等により、営業利益は42億11百万円と前連結会計年度に比べ3億6百万円（7.8%）の増益、経常利益は42億81百万円と前連結会計年度に比べ3億65百万円（9.3%）の増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、28億24百万円と共同ビル（東京都中央区）等の固定資産売却益17億47百万円を特別利益に計上した前連結会計年度に比べ12億89百万円（31.3%）の減益となりました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
2020年6月

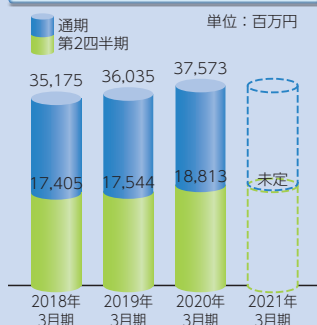
取締役社長

山田 雅裕

## 連結決算ハイライト

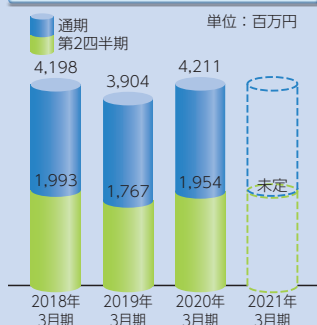
### 売上高

375億73百万円  
前年同期比4.3%増



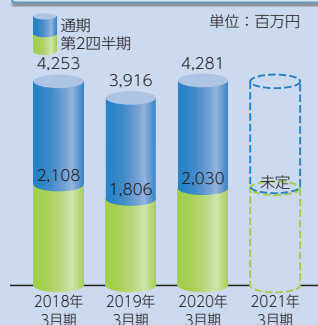
### 営業利益

42億11百万円  
前年同期比7.8%増



### 経常利益

42億81百万円  
前年同期比9.3%増



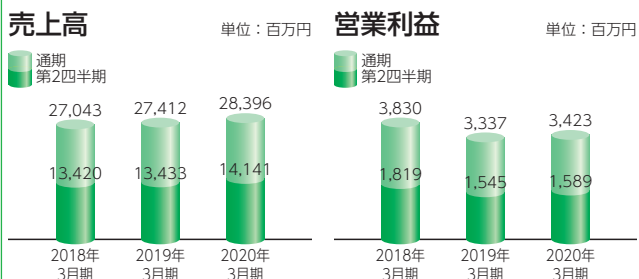
### 親会社株主に帰属する当期純利益

28億24百万円  
前年同期比31.3%減



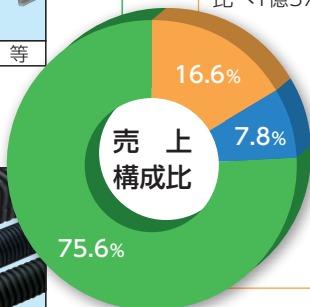
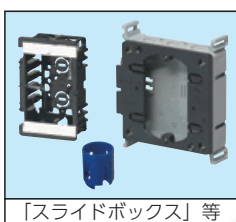
# セグメント別の概況

## 電材及び管材事業



### 製品用途

電気配線を保護するための樹脂管やその接続用部材  
スイッチやコンセント等を取り付けるためのボックス  
給水給湯用樹脂管・継手・水栓ボックス

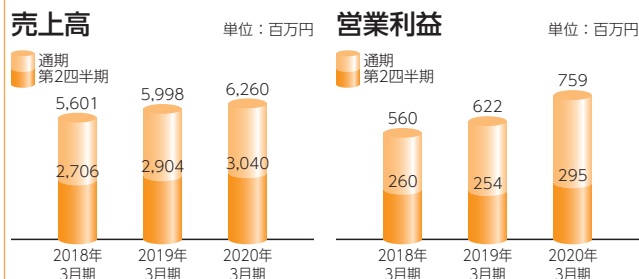


電材及び管材事業につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、公立小中学校への空調設備工事の特需等があった硬質ビニル電線管「J管」やその附属品が増加しました。また、施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレクスS」やその附属品が堅調に推移したことにより、電線管類及び附属品が増加しました。一方、管材では、「ミラペックス」等の給水給湯用の樹脂管とその継手が減少しました。その結果、売上高が283億96百万円と前連結会計年度に比べ9億83百万円（3.6%）の増収となりました。営業利益は外注加工費の増加等があったものの増収効果等により、34億23百万円と前連結会計年度に比べ85百万円（2.6%）の増益となりました。



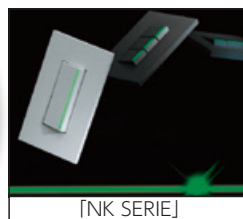
## 配線器具事業



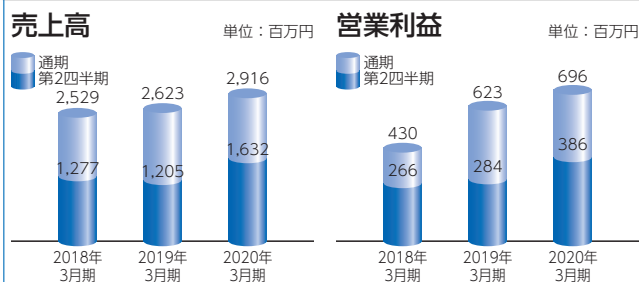
### 製品用途

スイッチやコンセント等の配線器具

配線器具事業につきましては、意匠性の高い配線器具「NK SERIE」の増加に加え、電材ルートへの活発な営業活動により「J・WIDE」等の配線器具が堅調に増加した結果、売上高が62億60百万円と前連結会計年度に比べ2億61百万円（4.4%）の増収となりました。営業利益は7億59百万円と前連結会計年度に比べ1億37百万円（22.1%）の増益となりました。



## その他の事業



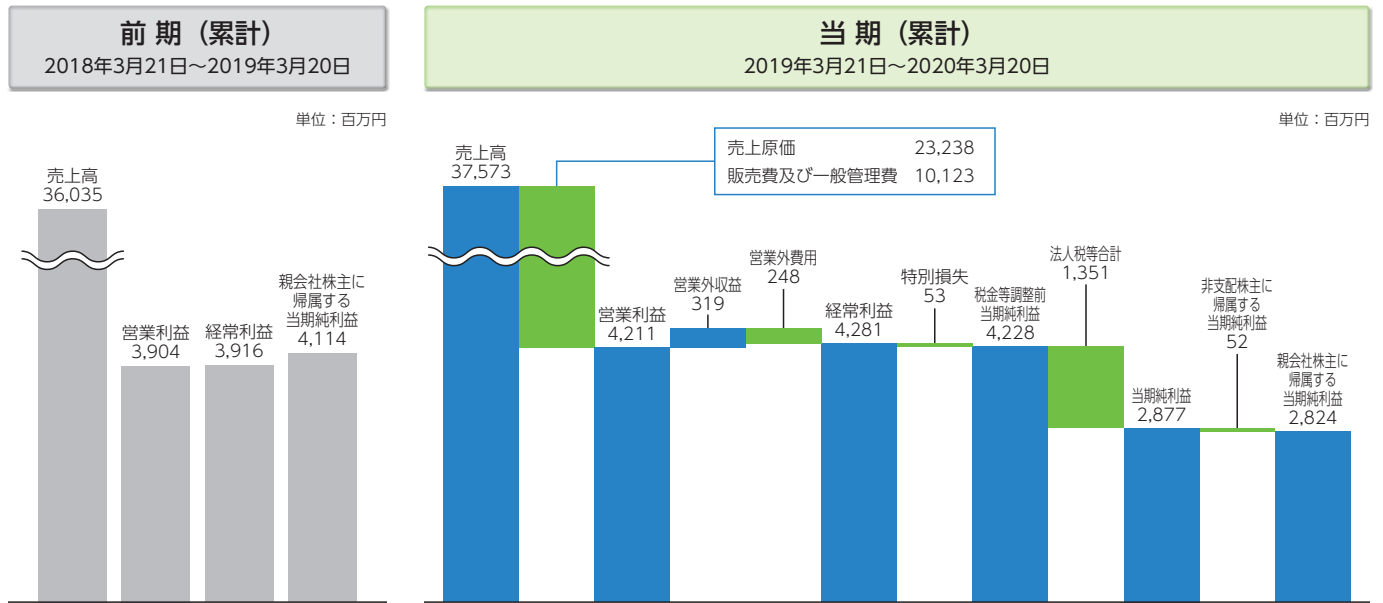
### 製品用途

金型・機械の製作販売、データセンター事業・  
建設業・電気通信事業等

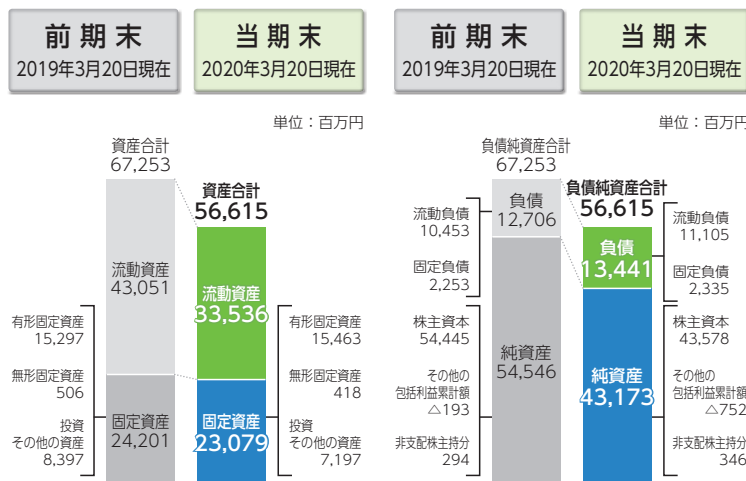
その他の事業につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」における自動車関連向けの樹脂成形用機械が堅調に増加したことに加え、「データセンター」が堅調に推移した結果、売上高が29億16百万円と前連結会計年度に比べ2億93百万円（11.2%）の増収となりました。営業利益は6億96百万円と前連結会計年度に比べ72百万円（11.7%）の増益となりました。



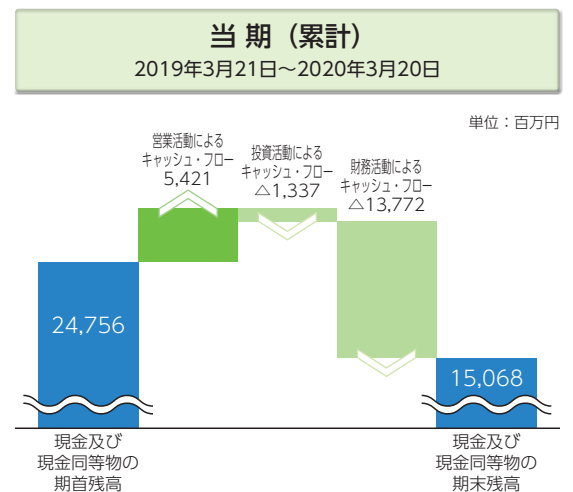
## 連結損益計算書（要旨）



## 連結貸借対照表（要旨）



## 連結キャッシュ・フロー計算書



※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## TOPICS

### 新型コロナウイルス感染症に関する影響と対策並びに社会支援（自治体への製品寄贈）

新型コロナウイルス感染症に関する業績への影響は、主な事業領域である建築業界において、経済が悪化し住宅建築や建築設備投資などが減少した場合に大きくなる可能性があります。具体的には、国の緊急事態宣言を受け、一部の建設業で全国の建設工事を一時中断するという動きがあったように、工事中断や建築物資の不足による工事の遅延が各地に拡がり建築工事が停滞した場合などが考えられます。このような懸念がある中、現在においても当社グループ業績への影響が不確定であり業績予想の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期業績予想の公表は差し控えていただいております。今後の動向を見極めながら、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたしますのでご理解賜りたいと存じます。

当社グループでは新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、様々な対策を講じております。全役職員による検温実施はもちろん、その家族に対する健康チェックも行っております。また、いわゆる「3密」を防ぐため、多人数での会議、研修、イベントなどを取りやめ、働く環境についても、テレワークやサテライトオフィスの順次設置などを実施してまいりました。このような対策の下、製品の生産・供給におきましては通常と変わらず問題なく事業運営を行っております。

また、当社の社会支援において、医療現場では医療物資の不足が叫ばれる中、当社ならではの活動を行いました。2020年4月には大阪市の逼迫した雨がっぱ提供の呼びかけにいち早く応じ、当社製品「デンコーレインスーツ」（カッパ）約1,000着を寄贈いたしました。翌月には、当社が得意なプラスチック成形・加工技術を生かし医療用フェイスシールドを約10,000個、医療用ガウン5,000着を新規で製造し、岐阜県へ寄贈させていただきました。

今後も全ての関係者のみなさまの健康・安全の確保を優先し、引き続き安定的な事業の継続に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の早期終息を願っております。

# 会社概要等

## 会社の概況 (2020年3月20日現在)

商号	未来工業株式会社
本社所在地	岐阜県安八郡輪之内町楡保 1695番地の1
主要な事業内容	当社は、電気設備資材、給排水設備・ ガス設備資材等の製造販売を行ってお ります。
資本金	7,067百万円
従業員数	840名 (連結1,221名)

## 連結子会社 (2020年3月20日現在)

神保電器株式会社・未来精工株式会社・未来運輸株式会社  
未来技研株式会社・未来化成株式会社・株式会社アミックスコム  
株式会社ミライコミュニケーションネットワーク

## 役員 (2020年6月17日現在)

取締役会長	相 崎 有 平
*取締役社長	山 田 雅 裕
常務取締役	川 瀬 涉
常務取締役	中 島 靖
取締役	山 内 弘 治
取締役	後 藤 茂 之
取締役(社外)	磯 部 隆 英
取締役(社外)	廣 瀬 英 雄
取締役(社外)	勝 崎 視 美

(注) 1. \*印は代表取締役であります。  
2. 磯部隆英、廣瀬英雄及び勝崎視美の3氏は、監査等  
委員である取締役であります。

## 株主メモ (2020年3月20日現在)

事業年度	3月21日から翌年3月20日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月20日
中間配当金受領 株主確定日	9月20日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 (公告掲載URL <a href="https://www.mirai.co.jp/">https://www.mirai.co.jp/</a> )

\*ただし、電子公告によることができない事故、その他  
のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞  
に公告いたします。

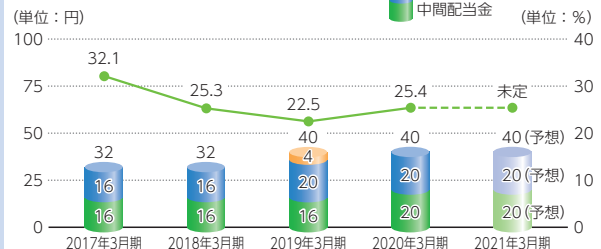


岐阜県安八郡輪之内町楡保1695番地の1  
【お問い合わせ先】 総合企画部経営企画課 TEL: 0584-68-1200

## 株主還元

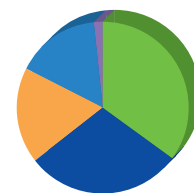
株主のみなさまに対する利益還元の基本方針は、業績及び健全な財務体質の維持と配当の永続的な安定性を総合的に勘案しながら配当水準の向上に努め、維持できるよう努める所存であります。また、留保する利益の一部を研究開発や生産設備等への投資に充当してまいります。

### 配当金・配当性向の推移



## 株式の状況 (2020年3月20日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式7,602,788株を含む)	25,607,086株
株主数	3,087名



### 所有者別分布状況 (%)

個人・その他	35.0
自己名義	29.7
その他の国内法人	17.8
金融機関	16.0
外国法人	1.5

## 大株主の状況 (上位10名) (2020年3月20日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
未来 A.K.O 株式会社	2,376	13.1
名古屋中小企業投資育成株式会社	1,495	8.3
清水 琴 子	1,179	6.5
未来社員持株会	1,014	5.6
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (株式付ESOP信託口・75647口)	835	4.6
山 田 雅 裕	768	4.2
山 田 智 絵	768	4.2
清 水 陽 一 郎	722	4.0
大 澤 千 緒	652	3.6
岩 田 ま り も	649	3.6

(注) 1. 当社は、自己株式7,602千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
なお、自己株式(7,602千株)には、株式付ESOP信託口・75647口が所有する当社株式(835千株)を含んでおりません。  
2. 持株比率は自己株式(7,602千株)を控除して計算しております。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。